港区立東町小学校

学校だより

平成３０年１０月３１日
第５９８号

発行者　　校長　羽田野 庸史
higashimachi-es.minato-tky.ed.jp

創立１０５周年を迎えて

校長　羽田野庸史

私の好きな歌の一つに「秋の気配」という歌がありますが、最近はあまり秋の気配を感じることなく、一気に冬に突き進んでいるような気がします。街行く人もついこの前まで半袖を来ていたのに、コートを着ている人も珍しくありません。ニュースでも、「夏日」と言ってたかと思ったら、「北海道で氷点下を記録しました。」の声にその感を強くせざるを得ません。

さて、本校は、11 月 14 日(水)、創立 105 周年を迎えます。東町小は、1913(大正２)年 11 月 14 日、「東京市東町尋常小学校」(児童数 607 名、学級数 11 学級、職員数 12 名)として産声を上げました。初代校長の西村新太郎先生は、その開校式において、子供たちに「何事も一生懸命に」とお話をされました。成すことのために一生懸命努力する、この建学の精神がその後の本校の校風と伝統を培ってきました。

また、本校は、廃校を経験しながらも、今なお、学校が存続しているという、他校にはない類まれな歴史を有しています。日本には 19591 校(平成 30 年５月１日現在)の公立小学校がありますが、このような歴史の学校がはたして何校あるでしょうか。1945(昭和 20)年８月 15 日、日本は、終戦を迎えました。東町小の周辺は、一面の焼け野原で、本校の敷地には、30 軒の木造バラックが立ち並び、人々が生活していたそうです。そして、翌 1946(昭和 21)年３月、本校は廃校となりました。それでも、終戦から９年経った 1954(昭和 29)年 12 月、地域の方々が東町小を再建しようと力を尽くしてくださったおかげで、翌 1955(昭和 30)年４月に再び開校の運びとなりました。

その後、1981(昭和 56)年を境に児童数が減り続け、2009(平成 21)年には、全校児童が 58 名、2010(平成 22)年の新１年生はわずか４名になってしまいました。地域の方々は、2013(平成 25)年の開校 100 周年は迎えられないのではないかと心配されたそうです。それでも、地域の方々が中心となってビオトープに上総掘りの井戸を作ってくださったり、地域行事を工夫してくださったりと地域の方々の本校を愛する思いは、脈々と受け継がれていました。2012(平成 24)年、国際学級が開設されたこともあり、その後の児童数の増加は、ご存知の通りです。

今月は、新たに計画した音楽会を実施します。また、来月は、本校伝統のなわとび大会、来年２月には、国際学級を開設して取り組み始めた International Assembly を行います。これまでの伝統を大切にしながらも、時代の変化に応じた教育を通して、何事も一生懸命に取り組む児童を引き続き育てていきます。

１１月　行事予定

日	曜	行　事　等	放課後遊び
1	木	安全指導　就学時検診　４時間授業	なし
2	金		3～6
3	土	文化の日	
4	日	親子読書終了	
5	月	移動教室前検診（６年）	4～6
6	火	移動教室開始（６年）	3～5
7	水	４時間授業	なし
8	木		4･5
9	金	移動教室終了（６年）	3～5
10	土		
11	日		
12	月	避難訓練　委員会活動	5～6
13	火	４時間授業	なし
14	水	開校記念日　児童集会	なし
15	木		4～6
16	金		3～6
17	土	土曜授業日　ファミリー遊び　日本文化の時間	なし
18	日		
19	月	クラブ活動	4～6
20	火	個人面談①	なし
21	水	個人面談②	なし
22	木	音楽朝会　個人面談③	なし
23	金	勤労感謝の日	
24	土		
25	日		
26	月	個人面談④	なし
27	火	個人面談⑤	なし
28	水		なし
29	木	音楽会リハーサル	4～6
30	金	音楽会（児童鑑賞日）　４時間授業	なし

１１月の生活目標

生活指導主任　河合　一洋

「力を合わせてやりぬこう！」

今月末には、東町小学校で初めてとなる音楽会があり、どの学年も一生懸命に練習に励んでいます。一人一人が自分の役割を最後までやり通し、みんなの力を合わせて素晴らしい会にしましょう。